

## 令和3年度森林土木関係予算の確保等について

平素より、森林土木事業の推進につきまして、格別のご理解とご支援をいただいております。厚くお礼申し上げます。

自然災害が毎年発生し、その規模も年々激甚化しており、線状降水帯など局地的豪雨の発生頻度が増加している近年、国土の保全や山地災害防止など、森林の持つ公益的機能は益々重要となってきております。

しかしながら、木材の価値の低迷などから、一般の森林所有者は、林業だけでは収支が見込まれない状況に陥っております。また、所有者不明森林等も増加していることから、「伐って・使って・植えて・育てる」林業サイクルの循環がうまく働かなくなっており、この結果、森林の管理や整備が進まず、森林の林業的利用もおざなりになってきております。

こうしたことから、森林の適正な管理、林業経営の合理化、山村地域の振興を図るための基幹的な施設である林道の整備が益々求められております。

こうした社会環境の中、我々森林土木建設業が、その社会的責務を果たしていくためには、安定した経営基盤の確保が肝要であります。地域の森林土木建設業者を取り巻く経営環境は、長期にわたり建設投資額が減少する中、受注量の大幅な減少や利益が確保できない工事などにより厳しい状況になってきております。

このため、令和3年度当初予算の編成にあたり、次のことについて、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。